【大分県の作家・大分県の小説】

	書名	著者	出版社	内容	関連する場所
1	わが故郷のキネマと文学	矢野寛治	弦書房	大分県にまつわる文学作品や映画に関するエッセイ集	大分全域
2	ストロベリームーン	芥川なお	すばる舎	難病にかかり余命宣告された少女萌と高校の入学式で出会った少年日向のラブストーリー	中津
3	十角館の殺人	綾辻行人	講談社	大分県K大学のミステリー研究会が訪れた孤島の館「十角館」。学生たちは殺人事件に巻き込まれていく…	大分県内の孤島
4	星がひとつほしいとの祈り 夜明けまで	原田マハ	実業之日本社	女優だった母を亡くした主人公が母の遺言に従い「夜明」を訪れる	日田市 夜明
5	大友二階崩れ	赤神諒	日本経済新聞出版社	豊後の戦国大名大友氏に起こった政変を腹心吉弘兄弟を通して描く歴史小説	大分市
6	宗麟の海	安部龍太郎	NHK出版	豊後の国を中心に六か国の守護戦国大名になった大友宗麟の半生の物語	大分市
7	蜩ノ記	葉室麟	祥伝社	若き藩士庄三郎は、重罪により3年後に切腹する武士、秋谷の監視を命じられる。幽閉先で清廉な生活を送る秋谷の姿に感銘を受けた庄三郎は事件の真相を調べ始めるが…	豊後羽根藩 （架空の藩）
8	青空と逃げる	辻村深月	中央公論新社	夫の交通事故をきっかけに世間から追及されるようになった母子の逃避行の物語	別府市
9	52ヘルツのクジラたち	町田そのこ	中央公論新社	家族に搾取されてきた女性と、母に虐待された少年が出会い、孤独から愛を求める魂の物語	大分の海辺の町
10	初恋をしまう日	町田そのこ	中央公論新社	兄が犯罪を犯し故郷にいられなくなった少女と父親に束縛された少年との初恋の物語	別府市
11	秀吉と利休	野上弥生子	講談社	天下の覇王秀吉と、美の創造者利休愛憎半ばする深い交わりの果てに迎えた宿命とは…	臼杵市 出身作家
12	営繕かるかや怪異譚	小野不由美	KADOKAWA	古い建物で起こる怪異現象を営繕屋「かるかや」の尾端が鮮やかに修繕する。怖しくも美しい	中津市
13	営繕かるかや怪異譚　その弐				
14	九年前の祈り	小野正嗣	講談社	海辺の小さな集落を舞台にした連作短編集	佐伯市 蒲江町
15	僕が愛したすべての君へ	乙野四方字	早川書房	並行世界（パラレルワールド）を行き来することができる世界を舞台に、同じ名前を持つ2人の少年がそれぞれの世界でひとりの少女と恋に落ちるラブストーリー	大分市
16	君を愛したひとりの僕へ				
17	万事オーライ ―別府温泉を日本一にした男	植松三十里	PHP研究所	別府観光の父”と呼ばれる実業家油屋熊八の生涯を描いた歴史小説	別府市
18	浦からマグノリアの庭へ	小野正嗣	白水社	「浦」である故郷蒲江からパリへの留学―滞在先に咲くマグノリアの花を見つめながら綴った随筆集	佐伯市 蒲江町
19	松下竜一その仕事１ 豆腐屋の四季	松下竜一	河出書房新社	母の急死で進学をあきらめ、家業の豆腐屋を継いだ青年が、日々の暮らしを短歌を交えて綴る	中津市